



# 第13回 稲門建築会特別功労賞 内藤多四郎氏(苗S31) (社)日本建築積算協会 顧問

表彰理由：

内藤多四郎氏は、(株)日建設計において長年に亘って建築コストに係る業務で活躍した。1975年頃から(社)日本建築積算協会において、各種の委員会活動を行うとともに、今日使用されている建築積算基準の改定に従事し、その改定に大きな功績を残した。また、業務においてもNSビル(1977)、中国世界貿易センター(北京、1985)など多くの建築プロジェクトにおけるコストプランニングを手掛けた。

(社)日本建築積算協会の副会長として1995~2007年まで務め、日本における積算士の資格制度の確立やその後創設した建築コスト管理士の資格制度の設立まで多大な貢献を為している。また、同氏は、早稲田大学建築学科における非常勤講師として、「建築経済」を1984年から2002年まで18年間に亘り担当し、数量積算やコストプランニングについての教育を行っている。以上における内藤多四郎の建築積算並びに建築コストプランニングに対する活動は、稲門建築会特別功労賞に推薦するに値する。(推薦者 嘉納成男)

## 略歴

- 1958.03 早稲田大学理工学大学院修士課程修了
- 1987.04 株式会社日建設計 取締役・東京技術センター所長
- 1991.03 株式会社日建アクト・デザイン 代表取締役
- 1996.02 株式会社日建設計退社
- 1995~2007 (社)日本建築積算協会 副会長
- 2007~ (社)日本建築積算協会 顧問
- 1984~2002 早稲田大学非常勤講師 担当：「建築経済」

## 主な著書

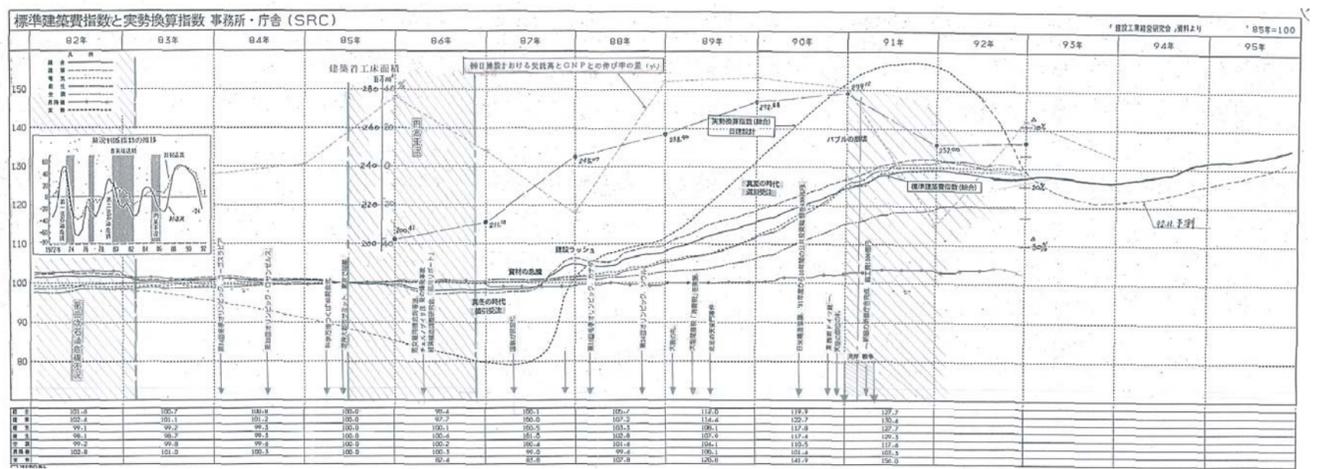
- ・内藤多仲(人のいる風景), 建築雑誌1999.01
- ・「建築コスト管理士」の創設について, 建築コスト研究2004.10
- ・平成18年度建築コスト管理士認定資格試験について, 建築コスト研究2007.07
- ・「建築コスト管理士」及び人材育成と技術の伝承(特集 建築界における人材育成と技術力伝承について), 建築コスト研究2008.07



NSビル



北京 中国国际贸易中心



標準建築費指数と実勢換算指数



東京ドーム

### 「建築コスト管理士」の創設について

社団法人 日本建築積算協会  
副会長 内藤 多四郎

はじめに

バブル経済崩壊以降、社会経済の低迷は産業構造の根本的改革を促すと同時に、建設生産構造の改革ももたらした。『建築産業政策大綱』(公共工事に関する入札・契約制度改革)等がその一環として行われた。しかし、国・地方自治体の財政事情の中で建設競争の激化と建設市場の縮小が相俟つ、平成16年度公共建設は前年比1.1%減の40兆6000億円と過去最大の下落率を示した。

建設市場では、建物の大規模・複雑化、発注者の業種を超えた統合化、契約・発注業務の多様化等から、「建築コストの透明性・信頼性・客観性」が社会的に大きなテーマとして強く求められるようになった。即ち、『発注者側』(「コスト」を「買」い取る側)と「発注者側」(「コスト」を「売」り取る側)の両者の間で「建築コストの透明性・信頼性・客観性」の確保が不可欠であるが、建築コストの透明性・信頼性・客観性の確保は、発注者の側から発注者の側へ、かつその一歩一歩の透明性・信頼性・客観性の確保が求められる。発注者は何があっても、何があっても認識できないところから、建築コストに対し積極的に取り組む必要がある。

そこで建築コストシステムにおいても、発注者側から発注者側へ発注者側に対する透明性を果たし、更にプロジェクトを構成する事業者が相互に建築コスト研究 RIBC AUTUMN

ISSN 0919-7257

## Research Institute on Building Cost

### 建築コスト研究

「建築積算高度化システム再構築調査研究会」の発足  
独立行政法人都市再生機構の設立と業務の概要  
建築資材の価格動向 その1—鋼材関係— 有光 克博

青柳 厚  
有田 俊彦  
有光 克博

【編集・発行】社団法人 建築コスト管理システム研究所

RIBC「建築コスト管理士」の創設